

多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム
派遣先機関等利用マニュアル

2010年10月05日

派遣者氏名（専門分野）	田 由甲 （ 文化形態論 東洋史学 ）
-------------	---------------------

派遣期間	2010年09月13日 ～ 2010年10月01日
------	---------------------------

派遣研究機関

国	都市	訪問機関
中国	福建省福州市	福州師範大学図書館（倉山キャンパス）

利用マニュアル（利用申請に必要な書類、手続き、リサーチ方法を記入）

- 基本情報：
住所：福建省福州市倉山区上三路8号
電話：0591-83465365
FAX：0591-83423940
ウェブサイト：<http://library.fjnu.edu.cn/>
- 開館時間：<http://library.fjnu.edu.cn/dzzn/02.html>
（夏）8:00-11:45、14:30-17:00
（冬）8:00-11:45、14:00-16:30
なお、「総合書庫」・「新聞雑誌閲覧室」・「デジタル検索センター」は毎日 8:00-21:30 開館。
水曜午後は、全館の休館日。
- 閲覧に必要な手続き：
身分を証明できるもので、1F の「弁証処」（水・金 8:00-12:00）で閲覧の手続きをする。一箇所半日あたりの利用金額は5 人民元。
- リサーチ方法：
すべてネットで検索可能。
- 撮影など：
派遣者が利用した「中文図書基庫」（4F）の場合、自由に撮影可。
- 派遣者の体験談：
派遣者は中国福建省福州市の福建師範大学図書館の「中文図書基庫」にて、発行量が少ない地方誌・地名録などを中心に閲覧した。該当資料は、専門書として図書館四階の「中文図書基庫」（大阪大学総合図書館の書庫に相当するもの）に所蔵されている。以下、「中文図書基庫」の利用について説明する。
まず、「中文図書基庫」を利用するには、学生証が必要となる。福建師範大学の学生ではない人の場合、図書館一階の事務室で、「臨時閲覧証」を作成する必要がある。一箇所あたり半日間の使用料が5 人民元（=70 日本円）と計上されている。料金を支払えば、領収証がもらえる。

その領収書と身分証明書（学生証・パスポートなど）をもって、「中文図書基庫」のカウンターで「代書板」（入室許可を示す板）と交換する。それで、「中文図書基庫」に入ることができる。なお、かばんなどの持ち込みは禁止されている。ペットボトルは持ち込み可。

次に、閲覧したい書籍を書架から探し出す。手順として、まず福建師範大学の OPAC*を開き、探したい本の情報を入力し、請求記号と配架場所を確認する。なお、検索はログインなしでできる。派遣者の場合、殆どの書籍が「中文図書基庫」にあった。次に、請求記号に基づき、書架の上で書籍を探すのみ。なお、注意を要するのは、見つけた書籍を書架から取った後に、「代書板」を代わりにその隙間にいれる。*<http://libdb.fjnu.edu.cn/cgi-bin/Enterllasweb>

そして、記録作業を行う。メモはもちろん自由に書ける。また、「中文図書基庫」の場合、撮影も無料で自由にできる。しかし、撮影台は備え付けられていない。派遣者は三日間をかけて、10冊以上の書籍を撮影し続けていた。

福建省図書館と同じく、11時45分から14時30分まで長い昼休みが挟まれているため、当該時間帯で資料を閲覧ことはできない。また、「中文図書基庫」にはエアコンがない。そのため、暑い夏と寒い冬に閲覧するには、忍耐力が必要である。図書館員は40代～50代の女性が多く、英語はまったくしゃべれない。



福建師範大学図書館